

令和2年度事業計画

(基本方針)

2020年は東京オリンピック・パラリンピック、本県では、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭などが開催され、本県観光の魅力を国内外に発信し、インバウンド及び国内観光客等の増加に繋げる絶好の機会である。

その一方で、2019年は、国際情勢の変化を背景とした、訪日外国人観光客の極端な減少に加え、新たな感染症の拡大など、これまでどおりの取組では対応できない問題が現れている。

当協会としては、これら国際情勢や新たな感染症の状況を見極めながら、関係機関等とこれまで以上に連携を図り、効果的かつ迅速な事業展開に繋げ、常に、様々な問題発生を想定して事業に取り組むとともに、今年度のビッグイベントを契機に、宿泊客や観光消費額の増加を図るため、県や市町村・市町村観光協会、関係機関等と緊密に連携し、本県ならではの観光資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、「訪日外国人旅行者の誘客強化」、「国際大会の支援及び新たなスポーツの合宿等の誘致」、及び「みやざきMICEの推進」を重点に、本県の観光振興に取り組む。

〈参考〉

○東京2020オリンピック	2020年 7月24日～ 8月 9日
○東京2020パラリンピック	2020年 8月25日～ 9月 6日
○第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭	2020年10月17日～12月 6日
○ワールドマスタースゲームズ2021 関西	2021年 5月14日～5月30日

(重点事項)

Ⅰ 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、意識の共有化を図るとともに事業に反映させる。

① 新型コロナウイルスの収束を意識した対策会議

① 観光関係事業者会議 (4月～)

② 市町村観光担当者会議 (4月～)

(2) 市町村関連会議

① 市町村観光協会会長会議 (5月)

② 市町村・市町村観光協会事務担当者会議

ア 事業連携等説明会 (5月)

イ 地域別会議 (10月～)

ウ 個別訪問 (随時)

(3) テーマ別事業者等関連会議

①スポーツ関係担当者会議 (6月～)

②MICE関係担当者会議 (6月、2月)

(4) 会員の集い (1月)

観光関連功労者等の表彰を行うとともに、賛助会員相互の交流を図る。

團② ユニバーサルツーリズムの推進

人口減少や高齢化が進む中、高齢者や障がいのある方の旅行需要は、今後益々高まるものと考えられる。また、本年、本県で開催される全国障害者芸術・文化祭の受入体制の整備が求められている。

このため、高齢者や障がいがある方など全ての人が、制約を感じずに気軽に参加できる旅行に対応する窓口を設置し、観光客への情報提供や相談等に対応する。

<主な取り組み>

- ・ユニバーサルツーリズムに関する観光客への情報提供、相談対応
- ・宿泊施設や観光地におけるバリアフリー等状況調査
- ・アクセシビリティ情報マップの更新
- ・県内観光事業者等を対象とした研修会の開催

3 東京オリンピック・パラリンピックの開催及び新型コロナウイルスの収束を意識した誘客強化

今後の動向を踏まえ、国内・海外における本県への旅行意欲を喚起する効果的な誘客プロモーションの実施に取り組む。特に新型コロナウイルス対策については、収束時に速やかに始動できるよう、関係団体と連携する。

<主な取り組み>

- 團①・ 20～34歳の女性層に向けたSNS等を活用した誘客プロモーションの実施時期を年度前半からとする。
- 團②・ インターネット系旅行会社(OTA)を活用し、市町村等と連携した誘客プロモーションの実施時期を年度前半からに見直す。
- ・ 新型コロナウイルスの影響によるクルーズ産業とマーケットの調査

4 魅力ある観光地域づくりの推進

観光交流人口の拡大が期待される中、本県の知名度を向上させるための誘客プロモーションの展開や地域にある体験・交流型の観光素材を生かした魅力ある観光地域づくり、宮崎らしい素材を生かした旅行商品の造成等に取り組む。

<主な取り組み>

- ・国内誘客プロモーションの展開
- ・魅力ある観光地域「みやざき」づくりの推進

5 訪日外国人旅行者の誘客強化

令和元年度に実施されたデジタルマーケティング事業の結果を踏まえ、インターネット等による本県への旅行意欲を喚起させるための効果的なデジタルプロモーションを行う。

<主な取り組み>

- ・インターネットを活用した情報発信の強化
- ・航空会社等と連携した多様な旅行商品の造成・販売
- ・訪日外国人への多言語環境の提供

6 国際大会の支援及び新たなスポーツの合宿等の誘致

新型コロナウイルスの収束を意識した取組を行うとともに、スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」の実現に向けて、本県のスポーツ関係者等と連携を図りながら、経済効果の高い大規模な大会の支援や屋内競技チームなど、新たなスポーツ合宿の誘致に積極的に取り組む。

また、オリンピック・パラリンピックに向けた国内外の代表チームの事前合宿に対して関係機関と連携して円滑な受入対応を行う。

<主な取り組み>

- ・国際大会の支援
- ・スポーツ施設管理者等と連携した屋内競技などの新たな種目の合宿誘致
- ・国内外の代表チームの事前合宿等受入対応

7 MICE誘致の更なる強化

新型コロナウイルスの収束状況を踏まえつつ、新たな誘致セールス先の開拓を目指すとともに、重点的に東京・関西・福岡地区のセールスに取り組む。

<主な取り組み>

- ・関西地区のMICE誘致セールスの強化（誘致推進懇談会）

I 観光振興【164,386千円】

① ユニバーサルツーリズムの推進 (10,000千円)

協会内にユニバーサルツーリズムセンターを設置し、現地調査等によりバリアフリー等に関する情報を収集・更新し、観光客からの相談対応等に対応する。

- (1) ユニバーサルツーリズムセンターの設置
 - ・新たに職員2名を配置
 - ・観光客への情報提供、相談対応等
- (2) 宿泊施設や観光地のバリアフリー等現地調査
 - ・障がいのある方が同行して現地調査を実施
- (3) アクセシビリティ情報マップの更新
- (4) 県内観光事業者等を対象とした研修会の開催

2 東京オリンピック・パラリンピックの開催及び新型コロナウイルスの収束を意識した取組 (14,000千円)

本県の魅力である「食」「癒やし」「スピリチュアル」など、機会を捉えたタイムリーな観光情報の発信と誘客促進に繋がるプロモーションを展開し、本県への誘客を図る。

④・20～34歳の女性層に向けたSNS等を活用した誘客プロモーションの実施

※実施時期について、年度前半からとし、通年で行う。

④・インターネット系旅行会社（OTA）を活用し、市町村等と連携した誘客プロモーションを実施。

※実施時期を、年度後半から通年に切り替える。



OTAを活用したプロモーションの一例

- 3 観光情報発信・知名度向上の強化 (32,405千円) ※再掲を含む
本県の魅力を伝える誘客プロモーションの展開や国内最大級の旅行博への出展等により本県の知名度向上を図るとともに、本県観光情報を発信・提供する。

(1) 本県知名度向上のため誘客プロモーションの展開等

- ・ 「スポーツランドみやざき」の魅力を生かした誘客プロモーションの実施

- ツーリズムEXPOジャパン (9月：東京、10月：沖縄) への出展

- 20～34歳の女性層に向けたSNS等を活用したシーズン毎の魅力発信と誘客プロモーションの実施(再掲)



「ツーリズムEXPOジャパン2019」

- (2) 市町村と連携して、宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」やインスタグラム等のSNSを活用した観光情報発信の充実

- (3) NHK宮崎放送局枠を活用した県内26市町村と連携したイベント情報等のPR

- ・ 「NHKニュースイブニング宮崎」での情報発信 年間26回

4 魅力ある観光地域「みやざき」づくりの推進 (24,571千円)

県内を4ブロック(県北、県央、県西、県南)に分け、広域での周遊ルートづくりと体験・交流型観光素材メニューの磨き上げを図り、「宮崎ならではの強み」や世界農業遺産、ユネスコエコパーク等の「地域資源ブランド」を生かした魅力ある観光地域づくりに向けた取組を支援する。

- (1) 県北エリア「ひむか共和国クーポン」の流通拡大に向けた取組支援

- ・ 「ひむか共和国クーポン」を組み込んだ旅行商品を核とした流通戦略の展開と商品販売エリアの拡充

- ・ 同クーポンの効果的な周知と他事業との連携による利用促進の仕組みづくりの構築

- ・ 利用者視点に立ったクーポンメリットの導入とその効果的な周知

- (2) 県央・県西・県南エリアについて、二次交通対策を踏まえた交通事業者と連携した商品開発のための取組支援

- (3) みやざき体験メニュー紹介・予約サイト「me trip」の利活用促進

- (4) 観光地域づくり団体支援

地域が主体となって進める新たな観光地づくりについて、地域の認知度向上や誘客促進に繋がり、継続性や地域の連携が図れる取組等を支援する。

- 5 旅行商品造成に向けた取り組み (24,098千円) ※再掲分含む
 本県への誘客を図るため、旅行会社等が企画する旅行商品に対する支援や
 観光素材説明会での本県観光PRを行い、宮崎の素材を生かした「新しい宮
 崎旅行」の造成を支援する。

(1) 旅行会社等との連携・造成支援

- ・ 「長期滞在の旅」など新たなテーマによる
 旅行商品の造成に対する支援

- ④・ 第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭の開催に併せて、宮崎の誇る「神話」や「食」や「焼酎」等をテーマにした誘客プロモーションの展開及び旅行商品の造成に対する支援

- ⑤・ インターネット系旅行会社(OTA)を活用し、市町村や関係団体等と連携し、一年を通じて誘客プロモーションを実施(再掲)

(2) 旅行商品造成のための観光素材等説明会への参加

- ・ 2020年下期商品向け(4~5月:東京、名古屋、大阪、広島、福岡)
- ・ 2021年上期商品向け(8~10月:東京、名古屋、大阪、福岡)



国文祭・芸文祭ポスター

6 教育旅行誘致 (8,004千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、オールみやざき体制で誘致に取り組み、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

(1) 新たな教育旅行素材の提案

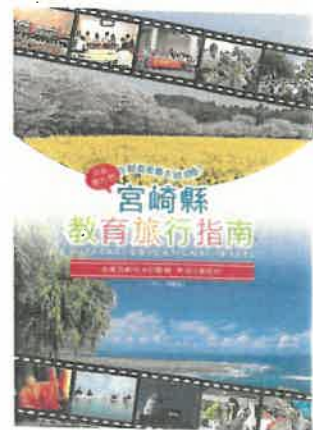
本県ならではの教育旅行素材の発掘・磨き上げを行い、新たな素材として提案・セールスを実施

(2) 国内誘致

- ・ 関西地区をメインターゲットに教職員及び旅行会社等の招請事業を実施
- ・ 国内主要都市(東京、名古屋、大阪等)での誘致セールスを実施

(3) 国外誘致

本県への教育旅行の伸びが著しい台湾・香港をメインターゲットに招請事業及び現地セールスを実施



教育旅行ガイドブック

- 7 九州圏域観光誘客 (4,780千円)
九州域内の誘客促進を図るため、NEXCO西日本や隣県と連携した共同プロモーションの実施等により、本県誘客を促進する。
- (1) 大分県と連携した共同セールス・誘客プロモーションの実施
 - (2) NEXCO西日本との連携
九州周遊ドライブパスとの連携や高速道サービスエリアや道の駅等でのPR事業を実施

- 8 訪日外国人旅行者誘致対策 (56,828千円)
新型コロナウイルスの収束時に、韓国、台湾、香港、中国を中心に誘致に取り組むとともに、国際情勢を踏まえ、英語対応が可能な市場（例えば、豪州、米国、英国、シンガポール）を対象にしたプロモーションを強化する。
- また、オリンピック・パラリンピックや本県で開催が予定されているサーフィン大会等の期間中に日本・九州を訪れる訪日外国人旅行者を本県へ誘導するため、地域の特性や市場ニーズに適した誘客プロモーションやセールスを行うとともに、インターネット等を活用した訪日外国人旅行者に「旅マエ・旅ナカ・旅アト」の観光情報を提供するためのプロモーションを展開し、本県における訪日外国人旅行者による経済波及効果の拡大を目指す。

(1) 新型コロナウイルス対策

- ・ 新型コロナウイルスの影響によるクルーズ産業とマーケットの調査

(2) 東アジア重点地域対策 [韓国、台湾、香港、中国等]

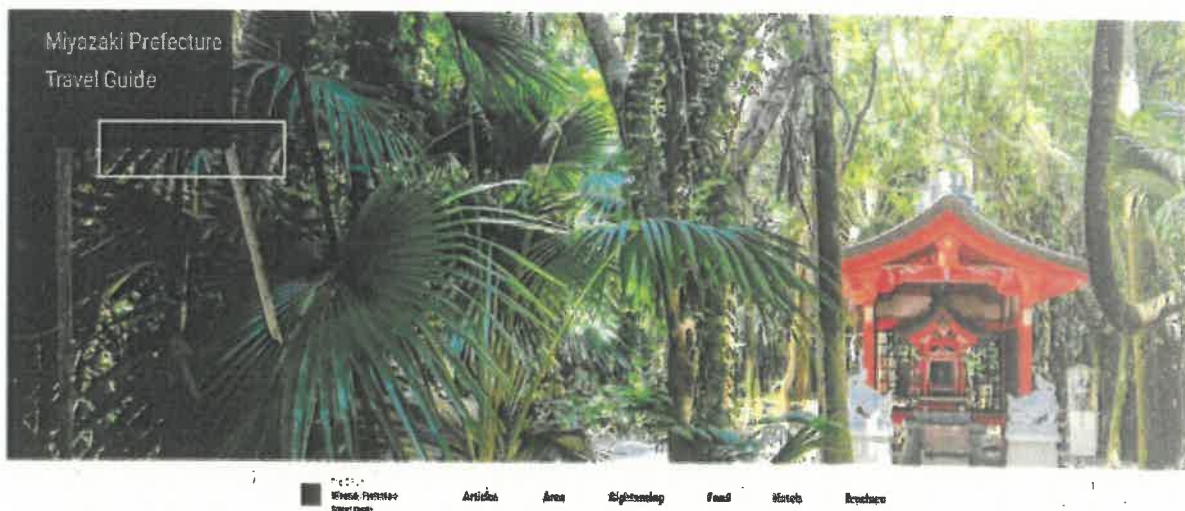
- ・ 旅行会社、メディア等の招請によるF I Tの誘客促進
- ・ インフルエンサー等を活用した情報発信
- ・ 宮崎ならではのF I T向け体験メニュー・新たな周遊ルートの造成・発信
- ・ アシアナ航空と連携した知名度向上・誘客促進 (TVショッピング等)
- ・ 台湾における民間団体等の相互交流による誘客事業 (訪問団等)
- ・ 台湾における県商談会の開催 (複数回)
- ・ 香港大手旅行社と連携した宮崎ならではの団体型商品の造成販売支援
- ・ 香港を拠点にしたアクティビティサイト「KLOOK(クルック)」と連携した誘客促進
- ・ インターネット系旅行会社 (OTA) 等と連携した中国からの富裕層の誘客促進

(3) 欧米豪等英語対応が可能な市場対策

- ANA Odyssey Japan の海外向け本格販売と旅行商品の造成販売支援
- VISIT JAPANトラベル&MICEマート（商談会）

(4) インターネットやSNS等を活用した情報発信強化

- 日本政府観光局(JNTO)、世界最大級の旅行サイト「トリップアドバイザー」を活用した観光情報の発信
- 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」内に設置している外国人専用サイト「The Official Miyazaki Travel Guide(ザ オフィシャルミヤザキトラベルガイド)」の拡充(中国語 繁体字ページの新設)
- インターネット系旅行会社(OTA)を活用したプロモーション
- インフルエンサーを活用した情報発信 (再掲)



The Official Miyazaki Travel Guideのホームページ（トップ）

⑤ 東京オリンピック・パラリンピック等のスポーツイベントをきっかけとした誘客の取り組み

- 航空会社の情報発信チャンネルを活用した誘客促進
- 宮崎ならではの体験メニューや多様な旅行商品の造成・販売支援

(6) 国・九州観光推進機構等との連携事業

- 東九州満喫ルートPR事業
(北九州市・大分県・スターフライヤーとの連携)
- ITF台北国際旅行博「九州ブース」出展
(福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・西鉄との連携)

(7) クルーズ船誘致

- 新型コロナウイルスの影響によるクルーズ産業とマーケットの調査
(再掲)
- 県内外の関係機関と連携したプロモーション

(8) 訪日外国人への多言語環境の提供

- 宮崎県多言語コールセンターの運営
訪日外国人旅行者と受入観光施設等との言語サポートを行う。

※ 対応言語数 17言語

英語、中国語／北京語、韓国語、
タイ語、ベトナム語、インドネシ
ア語、ネパール語、タガログ語、
マレー語、ポルトガル語、スペイ
ン語、ドイツ語、フランス語、イ
タリア語、ロシア語、ミャンマー
語、クメール語

- 地域観光資源の多言語解説整備支援
事業

観光庁が宮崎市・日南市において実
施する事業の現地サポートを行う。



多言語コールセンターのチラシ

9 観光人材の育成

DMO推進プロデューサーが中心となって、県観光協会、市町村観光協会
の観光業務に携わる職員の観光人材としての育成を計画的に行う。

Ⅱ スポーツランド推進【69,432千円】

1 新型コロナウイルスの収束を意識した取組

スポーツイベント・合宿が予定どおり実施されるよう、エージェントや主催者等への働きかけ、本県の受入体制状況等の情報提供を行うほか、誘致セールス等を前倒しして実施する。

- ・ポニーリーグアジアパシフィックゾーントーナメント及び全国大会(7月)に向けた主催者等との調整会議

※ポニーリーグ：本部を米国に置く少年硬式野球リーグ

- ・学生サークル合宿の実施に向けたエージェント等との調整会議（関西）
- ・スポーツ合宿等誘致セールス（関西、韓国）

2 スポーツイベント等開催促進 (29,900千円)

国際大会や全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に対し開催経費の一部を助成するほか、調整業務や現地対応等の運営支援を行う。

①・福岡ソフトバンクホークス公式戦(7月)

- ②・ポニーリーグアジアパシフィックゾーントーナメント及び全国大会(7月)

※ポニーリーグ：本部を米国に置く少年硬式野球リーグ

- ・ITUトライアスロンワールドカップ宮崎大会(10月)

※ITU：国際トライアスロン連合

- ・第34回青島太平洋マラソン(12月)

- ・三大ゴルフトーナメント

ダンロップフェニックス(11月)、リコーカップ(11月)、
アクサレディース(3月)

3 スポーツキャンプ等受入支援 (19,176千円)

プロ野球やサッカーJリーグ等のプロスポーツチームなどに対する宮崎牛等の県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等への支援や本県で合宿するアマチュアスポーツ団体に対して合宿経費の一部助成等を行う。

(1) 県産品贈呈(主な贈呈先)

- ・プロ野球、サッカーJリーグ
- ・ラグビー、トライアスロン、陸上等の国内外代表チーム 等

② (2) 受入歓迎

- ・巨人軍物産展、ジャビットバス運行などプロ野球一軍5球団の盛り上げ支援
- ・エアポートボールパーク2021開催支援

- ・プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（宮崎球援プロジェクト）



令和元年度宮崎球援プロジェクト

(3) 受入体制の強化

Jリーグのトレーニングマッチに係るコーディネートや開催支援のほか、審判講習会の開催によりキャンプ地としての受入体制の強化を図る。

(4) アマチュアスポーツ団体の受入支援

- ・本県で初めて合宿を行う団体への合宿経費の一部助成
- ・スポーツ施設等の紹介・調整

4 誘致セールス・PR活動

(20,356千円)

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」に向けて大学、実業団等を対象に屋内競技を重点的に誘致セールスやセミナーを実施するほか、武道等を活用した体験型ツーリズムのプロモーション及び受入環境の整備に取り組む。

團・スポーツ合宿誘致セールス（関東、関西、九州、韓国）

團・合宿誘致セミナー（関西）

- ・武道ツーリズムのプロモーションと受入環境整備

⑧・サーフィンをテーマとした誘客プロモーション

大都市圏で本県のサーフィン環境の魅力をアピールし誘客を図る。

- ・プロゴルフトーナメントへの県外観光客の誘致（ゴルフ王国宮崎振興）
- ・プロ野球・サッカーJリーグのキャンプガイドマップ作成



令和元年度合宿誘致セミナー

團5 県・関係市町村、競技団体等と連携した東京オリンピック・パラリンピック等
受入連携強化

東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を行うドイツ陸上連盟、イギリスとカナダのトライアスロン・パラトライアスロン代表チームの合宿の受入支援を行うほか、国際大会等に係る国内外の代表チームの合宿の受入対応を行う。

Ⅲ MICE推進【63, 137千円】

1 MICE推進体制強化 (3, 417千円)

- (1) みやざきMICE推進協議会を通じた誘致の推進
協議会と連携した受入体制の拡充、官民一体となった誘致やアンバサダーと情報共有した誘致活動を推進する。
- (2) 総会・講演会の開催
産学官が連携してMICEを誘致する機運の醸成等を行うため、MICE推進協議会総会を開催するとともに講演会を開催する。
- (3) MICE功労者表彰
本県でのMICE開催に特段の貢献をされた個人・団体を表彰し、MICE誘致関係者の意識の向上を図る。
- (4) MICE歓迎支援
歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等を提供する。



歓迎支援 看板設置

2 MICE誘致促進強化 (6, 770千円)

- (1) 個別誘致セールス (国内・国際)
大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問を強化する。また、韓国・台湾へのセールスを実施する。
- (2) MICEキーパーソン招請
学会関係者等MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎のMICE施設や観光地等の視察を実施し、開催地決定に繋げる。
- (3) 国内MICE誘致
国内で開催されるMICE商談会 (日本政府観光局(JNTO)等主催) に参加し、MICE開催補助金等の説明を行い、MICE誘致を積極的に行う。

(4) 国際MICE誘致

国際MICE、訪日インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局（JNTO）主催等の商談会・見本市へ参加し、支援内容等を説明する。

(5) 学術会議等誘致推進懇談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、MICE開催補助金制度などの説明や情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる。



令和元年度関西地区誘致推進懇談会

3 MICE開催支援 （52,950千円）

(1) MICE開催補助金交付

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会及び訪日インセンティブ旅行取扱エージェント等について、補助金を交付する。

<令和2年度の主なMICE>

- ・第35回絵手紙友の会全国大会 in 宮崎
5月20～22日 参加者 700人 延宿泊者 1,300人
- ・人権社会確立第40回全九州研究集会
5月28～29日 参加者 6,000人 延宿泊者 2,000人
- ・第64回九州地区高等学校PTA連合会大会宮崎大会
6月18～19日 参加者 2,600人 延宿泊者 1,800人
- ・第31回日本臨床スポーツ医学会
10月17～18日 参加者 1,000人 延宿泊者 1,300人
- ・第8回アジア結晶成長及び結晶技術国際会議（CGCT-8）
10月19～22日 参加者 300人 延宿泊者 1,250人
- ・2nd ACTS (Asian Conference on Thermal Sciences 2020)
11月15～19日 参加者 550人 延宿泊者 2,200人